

 領域代表あいさつ 

長谷 あきら（京都大学大学院理学研究科）

いよいよこのニュースレターも最終号となりました。まずは、右も左も分からない状態で始めたこの領域を何とか運営していくことができたのも、総括班の皆様の多大なるご支援のおかげです。あらためてお礼申し上げます。また、評価委員やアドバイザーの先生方には、班会議、若手ワークショップなどにもご出席いただき、様々なご助言をいただきました。本当にありがとうございました。さらに、領域の運営面では、研究代表者に加え、研究室の若手の方々にも大変お世話になりました。どうもありがとうございました。研究に関していえば、計画研究、公募研究の皆様には、領域の狙いをご理解いただき活発な研究を進めていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。多くの皆様のご協力により、大変有意義な領域活動になったかと思えます。本当にありがとうございました。

さて、学問ということ言えば、我々の眼前には、常に未知の地平が開けています。領域終了後も、ここで開発された新技術や人と人とのつながりが生かされ、新たな地平が切り拓かれていくことを切に願っております。

